
Resende

について

レゼンデ

レゼンデ (Resende) という名は、11世紀にこの町を征服し、そこに再度人々を植民したキリスト教徒の騎士「ラウゼンド (Rausendo)」の名にちなんだものと考えられています。

ここはポルトガルの初代国王、アフォンソ・エンリケス (Afonso Henriques) が、家庭教師のドン・エガス・モーニス (D. Egas Moniz) によって育てられたところです。王子は生まれつき不治の病にかかっていましたが、4歳のときドン・エガス・モーニスに幻で与えられた指示に従って、聖母像のある場所へ王子を連れていったところ、奇跡的に回復したのです。

王子は後に、カルケレ (Cárquere) と呼ばれるこの場所に教会を建てるよう命じました。その教会は15～16世紀に改造されましたが、ここでは今も小さな象牙の聖母像を見ることができます。

セーラ・ド・モンテムロ (Serra do Montemuro) の丘の上、カラパテロ・ダム (Barragem do Carrapatelo) によってできた貯水池の近くにあるレゼンデからは、ドウロ川の非常に美しいパノラマを楽しむことができます。

周辺地域には、カルダス・デ・アレゴス (Caldas de Aregos) 温泉があり、その湯はすぐれた治癒効果があると言われています。